

## 目的とねらい

京都には京都市が指定する47業種の伝統産業や多くの老舗があり、優れた職人がおられます。京都あるいは近くに住んでいても知らないことも数多くあります。専門職人として様々な分野で活躍しておられる方々からお話しをいただき、新たな発見と見識を深めます。

## 会場

河原町学舎

## 定員

40名

## 受講料

12,000円  
(材料費が別途必要な場合があります)

## 日程

全10回 第4水曜日  
13:30~15:30



(日程等は一部変更になる場合があります)

①	<b>京都の窯元に生まれ陶磁器ブランドをつくり、育てること</b> 内容：京都で330年茶道の陶磁器を作る家に生まれ、陶磁器ブランドで起業したこと、そして陶磁器という素材についてお話しします。 講師：宮川 尚子 / SHOWKO - ショウコ (陶芸家・アーティスト / SIONE 主宰)	2022年 4/27 (水)
②	<b>銀板を使い七宝(ペンダント又はストラップ)を作りながら京七宝を知る講座 (材料費2,000円)</b> 場所：京七宝 ヒロミ・アート東山店 東山安井バス停すぐ(安井金毘羅神社向い) 講師：野村 ひろみ (有限会社ヒロミ・アート代表取締役・京七宝協同組合理事長)	5/25 (水)
③	<b>和ろうそくの話 -和ろうそくは未来に残したいものか-</b> 内容：1914年創業の和ろうそく大興。見た目にも柔らかな灯りが魅力です。大興の和ろうそくへのこだわりと、和ろうそくを通じた未来の在り方を一緒に考えます。 講師：大西 巧 (和ろうそく大興 四代目・和ろうそく職人)	6/22 (水)
④	<b>京都の刺繍 -主に祇園祭の刺繍について-</b> 内容：刺繍作家の立場から日本刺繍の技術史を概観します。主に祇園祭の刺繍の見どころについてお伝えできたらと思っています。 講師：樹田 紅陽 (刺繍作家)	7/27 (水)
⑤	<b>ヨーロッパの王侯貴族に愛された蒔絵漆器</b> 内容：「小文字のjapanは蒔絵漆器」の由来や、現代につながる美の継承についてお話しします。 講師：下出 祐太郎 (下出蒔絵所三代目・京都産業大学名誉教授・伝統工芸士・学術博士・現代の名工)	8/24 (水)
⑥	<b>文化財修復事業による海外交流事例</b> 内容：国内で行って来ました文化財建造物の彩色・塗装調査や修復の技術にて、モンゴル・中国・インド等との交流をお話しさせていただきます。 講師：小野村 勇人 (おのむら はやと) (有限会社 彩色設計 代表取締役)	9/28 (水)
⑦	<b>鎧はなし</b> 内容：王朝の美しい鎧について 講師：明珍 阿古 (有職御鎧司) / 佐藤 永貴 (鎧司)	10/26 (水)
⑧	<b>我が国における瓦の歴史</b> 内容：文化財建造物の瓦の見方と、江戸時代の瓦に残されたへら書きから見る瓦師の足跡を辿る 講師：竹村 優夫 (有) 竹村瓦商会 取締役会長・(一社) 日本伝統瓦技術保存会会長 竹村 登茂枝 (有) 竹村瓦商会 代表取締役社長	11/23 (水)
⑨	<b>土壁と漆喰</b> 内容：壁の仕上げについて、その種類や塗り方など詳しく説明をします。 講師：浅原 雄三 (株式会社しっくい浅原会長取締役・一級左官技能士・現代の名工・全国文化財壁技術保存会会員)	2023年 1/25 (水)
⑩	<b>京指物 - 桐の宝石箱を作ろう (材料費1,500円)</b> 内容：京指物の解説と桐の箱の作製を体験 講師：清水 隆司 (「京指物」函七工房・伝統工芸師・京都木工芸協同組合専務理事・現代の名工)	3/22 (水)